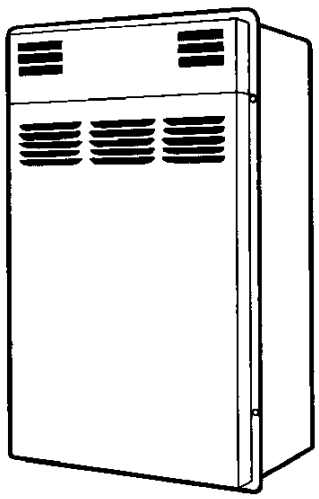
取扱説明書	DT-247RFA(U)(S) <GS-R247T-S> DT-247RFAZ(U) DT-247FFA(U)(S) <GS-F247T-S> DT-247FFAZ(U)	5555 2222 2222	7420 1515 2424 4062	13011

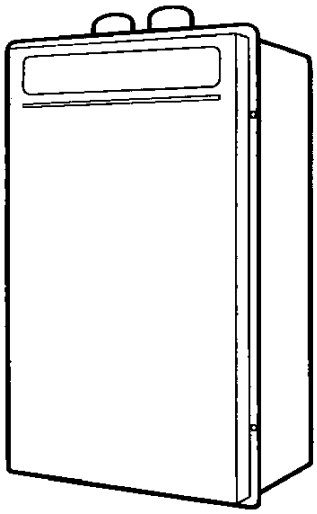
機種 DT-247RFA　　機種 DT-247FFA

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しい使い方で上手にお使いください。また、後々のため保証書とともに大切に保存してください。

屋外設置型	
形式名	GS-R247T-S



屋内設置型	
形式名	GS-F247T-S



ページ

- ●特長……1
- ●各部の名称……2
- ●特に注意していただきたいこと……5
- ●器具の設置……8
- ●使用方法……8
  - ※風呂自動追いだき運転……9
  - ※風呂連続追いだき運転……10
  - ※給湯運転……12
  - ※暖房運転……14

ページ

- ●暖房水の補給方法……16
- ●凍結による破損防止について……17
- ●日常の点検・手入れ……19
- ●故障・異常の見分け方と処置方法……20
- ●仕様……22
- ●長期間使用しない場合……23
- ●アフターサービス……23

TOKYO GAS

特長

自動追いだき機能

◉スイッチを押すだけで、さめたお湯の追いだきができます。

安定出湯

◉比例制御により、水圧変動に対しても能力範囲内では、常に安定した湯温が得られます。

クリーン暖房

◉暖房は、温水を使用するため、お部屋の空気を汚さないクリーン暖房です。

簡単操作

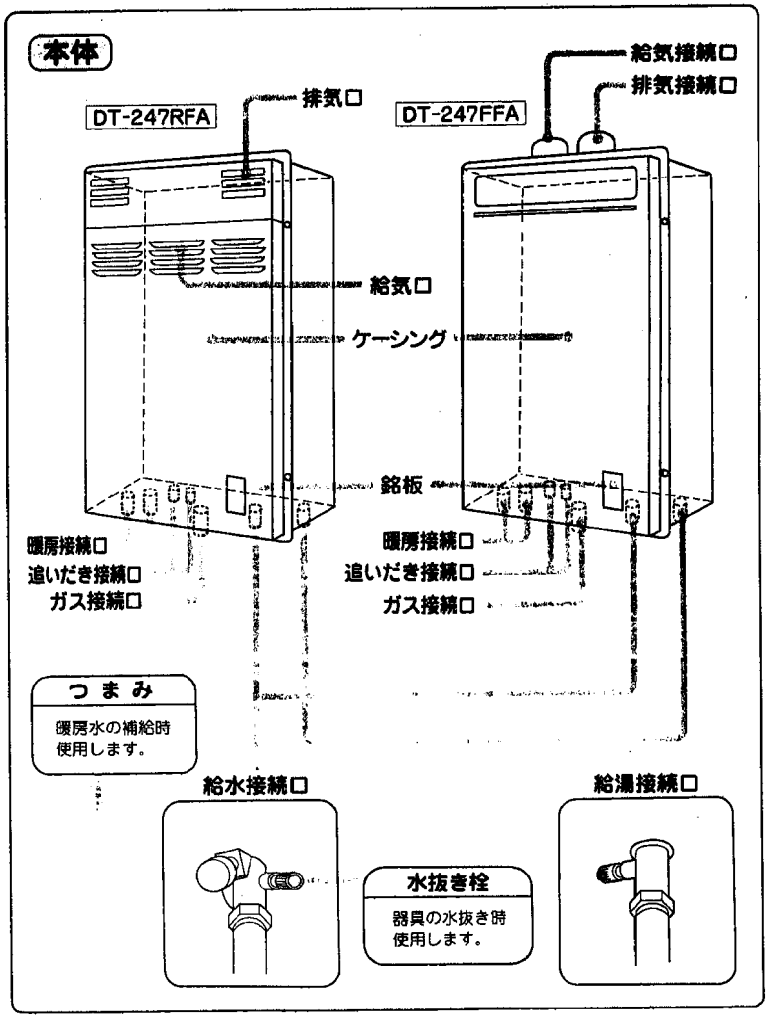
◉給湯は給湯栓を開くだけで、自動的に運転をします。

◉暖房はお部屋の放熱器の運転スイッチを入れるだけで、自動的に運転をします。

◉風呂はリモコンのスイッチを操作するだけで自動的に追いだき運転をします。

①

各部の名称

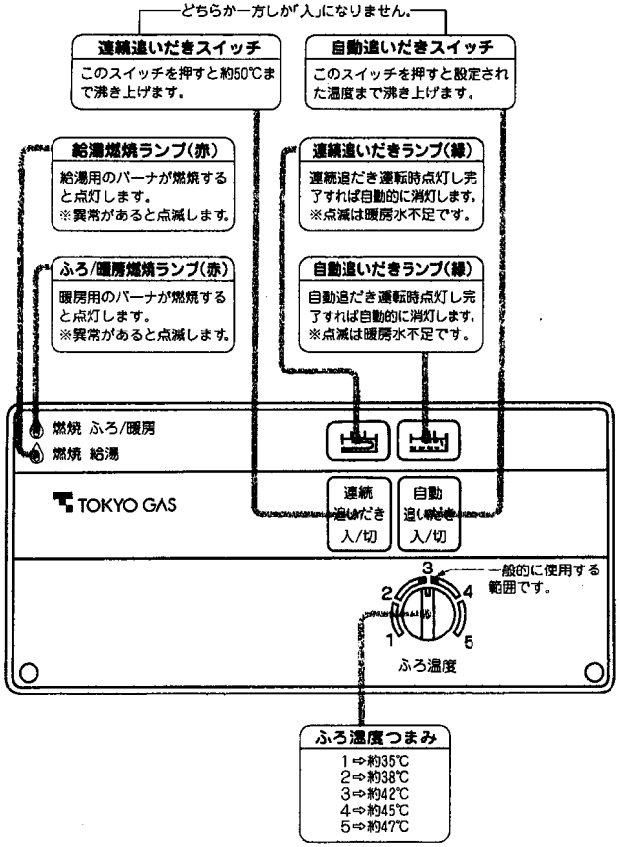


②

各部の名称

風呂リモコン

※各スイッチは、スイッチのすぐ上のランプ(緑)点灯で「入」、消灯で「切」です。

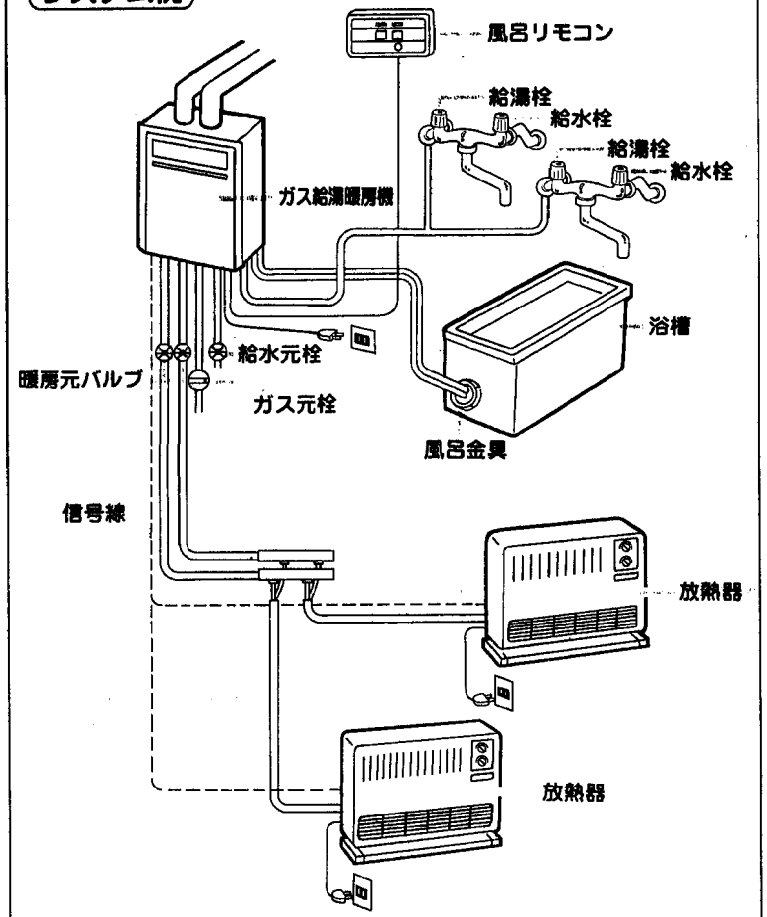


※給湯と暖房の「入」・「切」専用の台所リモコン(別売)もあります。

③

各部の名称

システム例



④

特に注意していただきたいこと

■使用ガス・使用電源について

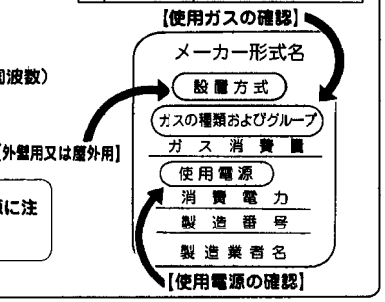
❶ 器具(銘板)に表示してあるガス(ガスグループ)以外のガスでは使用しないでください。

銘板は器具の正面に貼ってあります。

❷ 器具(銘板)に表示してある電源(電圧・周波数)以外では使用しないでください。

転居されるときは、ガスの種類、使用電源に注意してください。

ガスの種類	LPガス	
	都市ガス	4A・4B・4C 5A・5AN・5B・5C 6A・6B・6C・7C 11A・12A・13A



■火災予防

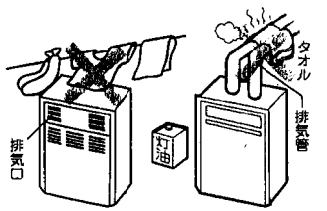
❶ 器具の上や周囲には、燃えやすい物を置かないでください。

紙、布、プラスチック、油、揮発性の薬品類などは近づけないでください。

❷ 器具の排気部の上にタオル、ふきんなどをのせないでください。

火災の原因となります。

❸ 火をつけたままで外出されたり、おやすみになることは、しないでください。



■ガス事故防止

❶ 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを風呂リモコンの燃焼ランプ(赤)で確かめてください。

❷ 使用後は必ず消火したことを、風呂リモコンの燃焼ランプ(赤)で確かめてください。

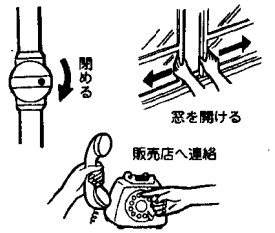
❸ 外出されるときや、おやすみになるときは、必ずガス元栓を閉めてください。
冬期凍結の恐れがある時は、暖房側凍結防止運転のためガス元栓を開いておいてください。

特に注意していただきたいこと

■ガス事故防止

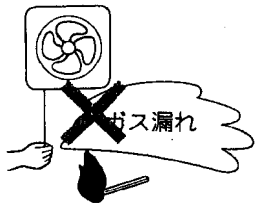
❹ ガス漏れに気づいたとき

(1)ガス元栓を閉めてください。
(2)窓や戸を全部開け、換気を十分にしてください。
(3)お買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)へ連絡してください。



❺ 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇その他)のスイッチの「入」・「切」や電源プラグの抜き差しをしないでください。

火や火花で引火し、爆発事故を起すことがあります。



■使用上の注意

用途について

●給湯、暖房、風呂追いだきに使用いただけます。
上記の用途以外には使用しないでください。

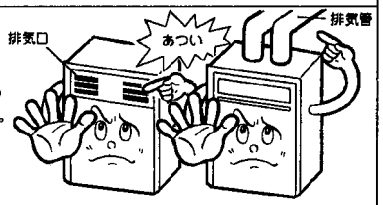
市販の補助具について

●標準附属品、指定の別売部品以外の補助具は使用しないでください。

特に注意していただきたいこと

■使用上の注意

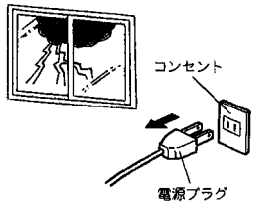
やけどに注意



- **使用中および使用直後は器具があつくなっていますので手を触れないようにしてください。**

  特に排気部は高温になっていますので絶対に手を触れないでください。

雷時の注意



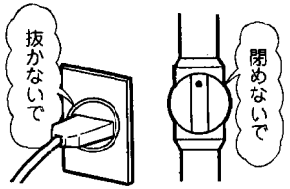
- **雷が発生したときは、すみやかにガス元栓を閉め、電源プラグをコンセントより抜いてください。**

  雷による一時的な過電流で器具を損傷することがあります。

飲用にお使いのとき

- **給湯側器内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。**

■凍結に注意



- **冬期は、凍結による器具の破損を防止するため、電源プラグは抜かないでください。また、ガス元栓を開いておいてください。**

  気温が下がると、自動的に凍結防止運転を行い、器具の凍結を防止します。

■異常時の処置

- **万一異常燃焼を起したとき、また異常な燃焼音がしたとき、あるいは緊急の場合は、あわてずにガス元栓を閉めて、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店か、ガス会社（ガス供給業者）へ連絡してください。**

⑦

器具の設置

この器具は設置工事および附帯工事が必要です。

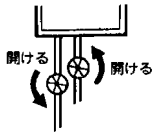
器具の設置はお買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)に依頼し、安全な場所に正しく設置してください。

使用方法

■使用前の準備と確認（器具の使用前に次のことを準備してください。）

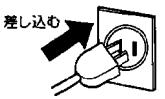
❶ **器具の周辺には、紙・プラスチック・油など燃えやすい物がおかれていないか確かめてください。**

❷ **暖房元バルブが全開になっていることを確認してください。**



❸ **給水元栓が全開になっていることを確認してください。**

❹ **器具の電源プラグをコンセントに差し込んでください。**



❺ **ガス元栓を全開にしてください。**

⑧

使用方法(操作のしかた) 風呂自動追いだき運転

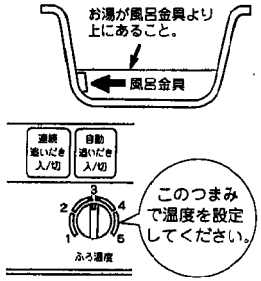
風呂自動追いだき運転

確認と湯温の設定

❶ お湯が浴槽内の風呂金具上面より上にあることを確認してください。

❷ 風呂リモコンのふろ湯度つまみで沸きあげる温度に設定してください。

ツマミの位置	湯　温
1	約35℃
2	約38℃
3	約42℃
4	約45℃
5	約47℃

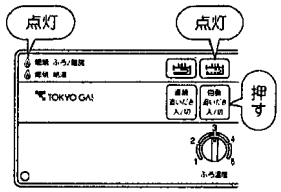


運転

❶ 自動追いだきスイッチを押してください。

- 自動追いだきランプ(緑)が点灯し設定された温度に沸き上げます。
- 運転中は ふろ/暖房燃焼ランプ(赤)が点灯します。

※自動追いだき運転中でもふろ温度をつまみで変更できます。



停止

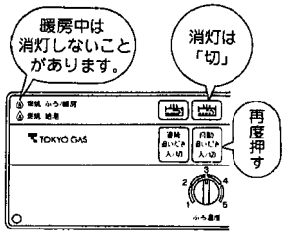
❶ 沸き上げが完了しますと、自動的に運転を停止します。

- この時、自動追いだきランプ(緑)、ふろ/暖房燃焼ランプ(赤)が自動的に消灯します。

〔注〕暖房使用中は、ふろ/暖房燃焼ランプ(赤)が消灯しないことがあります。

❷ 途中で停止される時

- 自動追いだきスイッチを再度押し、自動追いだきランプ(緑)の消灯を確認してください。



〔注〕この場合も暖房使用中は、ふろ/暖房燃焼ランプ(赤)が消灯しないことがあります。

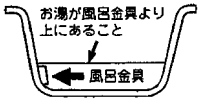
⑨

使用方法(操作のしかた) 風呂連続追いだき運転

風呂連続追いだき運転

確認

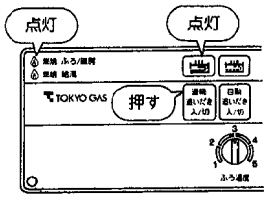
❶ お湯が浴槽内の風呂金具上面より上にあることを確認してください。



運転

❶ 連続追いだきスイッチを押してください。

- 連続追いだきランプ(緑)が点灯し、約50℃まで沸き上げます。
- 運転中はふろ/暖房燃焼ランプ(赤)が点灯します。

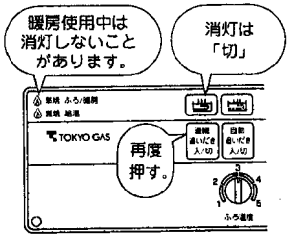


停止

❶ 希望する湯度になったら連続追いだきスイッチを再度押し「切」にしてください。

- 連続追いだきスイッチを「切」にしないと約50℃まで沸きあげた後、自動的に「切」になります。
- 「切」にしますと連続追いだきランプ(緑)ふろ/暖房燃焼ランプ(赤)が消灯し、運転を停止します。

〔注〕暖房使用中は ふろ/暖房燃焼ランプ(赤)が消灯しないことがあります。



自動追いだき運転と連続追いだき運転の違い

説明

- 自動追いだきは風呂リモコンで設定した温度まで沸き上げた後自動的に停止します。
- 連続追いだきは50℃まで沸きあげた後、自動的に停止します。
  〝あつい湯〟をお好みの方は連続追いだきをご使用ください。
- 自動追いだきと連続追いだきはどちらか一方しか使用できません。
  (後で押した方が「入」になります。)

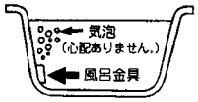
⑩

使用方法(使用時の注意) 風呂追いだき運転

風呂追いだき運転時の注意

浴槽にお湯がないのに追いだきを使用した時

●器具に異常はおこりませんが、お湯を十分入れて再度使用した時、風呂金具から1～2分ボコボコと気泡がでます。この気泡は空気が抜けているため生じるもので、心配ありません。



暖房使用時に追いだきを使用した時

●放熱器1～2台程度でしたら同時使用可能です。
●放熱器を多く使用されている場合、温風温度が下がる場合があります。追いだきが5～10分間ですとそのままご使用いただけますが、追いだきが長時間になる場合は放熱器の運転を1～2台に減らしてください。

給湯使用時に追いだきを使用した時

●給湯と追いだきは関係ありませんので、同時に使用できます。

追いだきスイッチを誤って「切」にした場合

●再度追いだきスイッチを「入」にしてください。運転をつづけます。

追いだき運転と保温

●追いだき運転を完了すると自動的に停止し、保温運転はしません。

追いだき中に停電およびガスの供給が停止した時

●どちらの場合も運転を停止します。「再通電」「ガスの供給再開」しても停止したままです。
●再度運転される場合は追いだきスイッチを「入」にしてください。

追いだき停止タイマーについて

●追いだき時間が80分以上になりますと、自動的に停止します。
特に大型の浴槽を使用し水から沸き上げる場合、希望の温度になる前に停止することがあります。このような場合、再度追いだきスイッチを「入」にしてください。

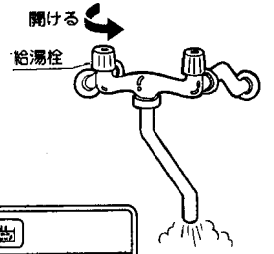
⑪

使用方法(操作のしかた) 給湯運転

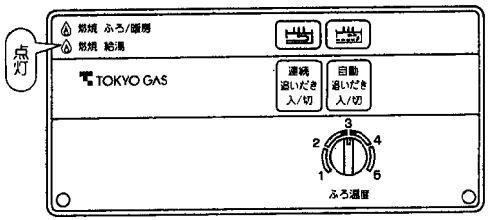
給湯運転

1 運転

●お湯を使用する場所の給湯栓を開けてください。

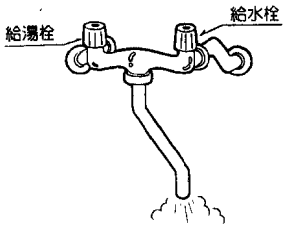


●メーンバーナに点火し、燃焼中は風呂リモコンの給湯燃焼ランプ(赤)が点灯します。



2 温度調節

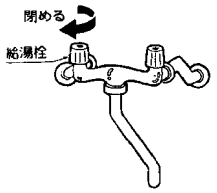
●給湯栓・給水栓で調節してください。



●器具は60℃の湯が出るよう調節してあります。
60℃よりも低い湯がほしいときは、水をまぜて調節してください。

3 停止

●給湯栓を閉めてください。



●メーンバーナが消火し、風呂リモコンの給湯燃焼ランプ(赤色)が消灯します。

⑫

使用方法(使用時の注意) 給湯運転

給湯運転時の注意

点　火

- 朝一番など万一水しか出ず、お湯にならない場合、いったん給湯栓を閉じ、再度開いてください。

温度調節

- 給湯栓を絞りすぎますと(約2.5ℓ/分以下)、メーンバーナの炎が消火しますので注意してください。
- お湯が白くなることがありますが、水の中の空気が分離して気ほうとなったものですから心配はありません。
- シャワーをご使用のときは、手で湯温を確認してからお使いください。
- 2ヵ所で同時使用されますと、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。
  特にシャワー使用中は、注意してください。
- 器具は60℃の湯が出るよう調節してあります。設定湯温を変更されたい場合は、お買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)に調節を依頼してください。

消　火

- メーンバーナ消火後、約5分間は排気用送風機が回ります。これは再使用時の点火をより早くするためで、約5分後に停止します。

停電・断水・ガスの供給が止った時

〔停電時〕…器具の運転は停止しますが水はそのまま出ますので給湯栓を閉じてください。再通電すると給湯栓を開くだけで使用できます。

〔断水時〕…器具の運転は停止しますが再通水すると自動的に点火しますので給湯栓はいったん閉じてください。

〔ガスの供給が止った時〕…器具の運転は停止します。ガスの供給が再開されても運転はしません。ガスの供給が再開されるまで給湯栓を閉じてください。いったん給湯栓を閉じ、ガスの供給が再開された後、給湯栓を開いてください。

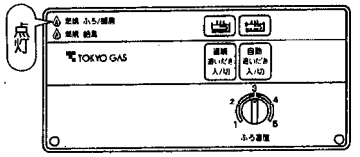
使用方法(操作のしかた) 暖房運転

暖房運転

1 運転

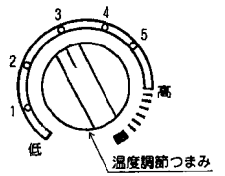
●暖房するお部屋の放熱器の運転スイッチを入れてください。

- 自動的に暖房を開始します。
- メーンバーナに点火し、燃焼中は風呂リモコンの ふろ/暖房燃焼ランプ(赤)が点灯します。
- ふろ/暖房燃焼ランプ(赤)は、室温により点灯↔消灯をくり返します。



2 温度調節

●室温の調節は放熱器の温度調節つまみで行なってください。

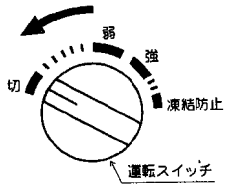


3 停止

●放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。

- 自動的に暖房を停止します。
- ふろ/暖房燃焼ランプ(赤)が消灯します。

(注)追いだき使用中は運転スイッチを「切」にしても、ふろ/暖房燃焼ランプ(赤)は消灯しません。



使用方法(使用時の注意) 暖房運転

暖房運転時の注意

点　火

●暖房シーズンに入って初めて運転するとき、長時間使用しないで運転するとき、点火操作をしてもガス配管中に空気が入っていて点火しないことがありますので放熱器の運転スイッチの「入」・「切」を約30秒間隔で繰り返してください。

温度調節

●放熱器には、いろいろな種類があり、温度調節機能がないものもあります。

「温度調節の方法」につきましては、それぞれの放熱器の取扱説明書をお読みください。

その他

●放熱器の空気抜き栓、水抜き栓は絶対に開けないでください。

空気抜き栓や、水抜き栓を開けると、暖房配管に空気が入り、運転できなくなりますので注意してください。

停電・断水・ガスの供給が止った時

〔停電時〕
器具の運転は停止します。再通電すると自動的に運転を再開しますが、停電中は念のため放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。
〔断水時〕
そのまま暖房をご使用ください。
〔ガスの供給が止った時〕
器具の運転は停止します。ガスの供給が再開されても運転はしません。
一旦放熱器の運転スイッチを「切」にしガスの供給が再開された後放熱器の運転スイッチを「入」にしてください。

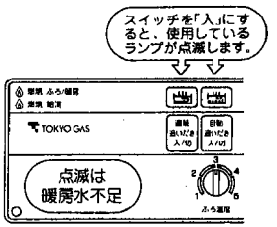
暖房と追いだき

●暖房と追いだきは同じバーナを使用しております。
従いまして両方を使用していると片方の運転を停止しても、ふろ/暖房燃焼ランプ(赤)が消灯しないことがあります。

暖房水の補給方法

暖房水の補給

●暖房水は蒸発などにより減少します。
●暖房水が一定量以下になると安全装置が働き追いだき運転、暖房運転が停止します。
●風呂リモコンの各運転ランプ(緑)のいずれかが点滅したら暖房水不足です。
下記の手順で暖房水を補給してください。

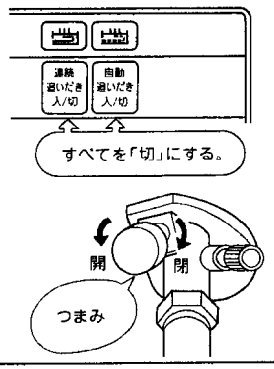


暖房水の補給手順

❶ 放熱器の運転スイッチおよび風呂リモコンのすべてのスイッチを「切」にしてください。

❷ 器具右下部のつまみを左へ1～2回まわしてください。補給がはじまります。

❸ ピー、ピーとブザーが鳴ると補給完了です。つまみを右へまわして閉めてください。



凍結による破損防止について

■凍結防止について

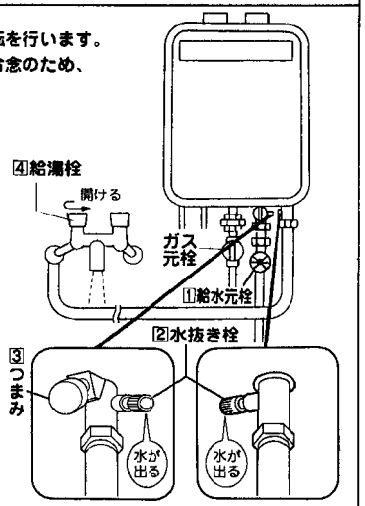
- 冬期は急な寒波のために器具および給湯・暖房配管内の水が凍結し、破損する場合があります。このため器具は自動的に凍結防止運転を行いますので、電源プラグは絶対に抜かないでください。
- この器具には給湯用と暖房用と風呂用の3つの熱交換器があります。凍結防止操作は給湯側と暖房側および風呂側について行なってください。

■凍結防止操作(給湯側)

- 通常は凍結防止ヒータが作動し凍結防止運転を行います。
- 長期不在の場合、異常低温注意報が出た場合念のため、下記の手順で水抜きをしてください。

水抜きの手順

(1)[1]給水元栓をしっかり閉めてください。
(2)[2]水抜き栓を開けてください。(2本)
(3)[3]つまみを左へ2～3回まわしてください。
(注)この時コップ3杯ぐらいの水が出ます。
こぼさないように手おけ等で受けてください。
(4)[4]全部の給湯栓を全開にしてください。



- [2]水抜き栓と[4]給湯栓から水が抜けるのを確かめてください。
- 次にお使いになるまで、このままにしておいてください。

水抜き後の使用方法

(1)[2]水抜き栓(2本)、[3]つまみをしっかり閉めてください。

(2)ガス元栓を「閉」にした後[1]給水元栓を開け、[4]給湯栓から水が出るのを確かめて、[4]給湯栓を閉めてからお使いください。

(3)使用するときは、⑫ページの「使用方法(操作のしかた)」に従って操作してください。

凍結による破損防止について

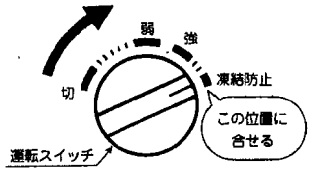
■凍結防止操作(暖房側)

- 暖房側は、暖房を使用していなくても気温が下がると、自動的に凍結防止運転を行ない凍結を防止します。このため、下記の準備を行なっておいてください。

(1)電源プラグは抜かないでください。

(2)ガス元栓は全開にしておいてください。

(3)各放熱器の運転スイッチを凍結防止の位置に合せてください。

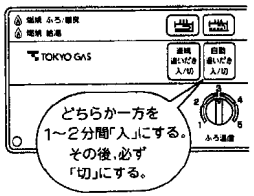


放熱器は、種類によって凍結防止運転の方法が異なるため、それぞれの取扱説明書をお読みください。

■凍結防止操作(風呂側)

- 凍結防止ヒータが作動し、凍結防止運転を行います。
- 長期不在の場合、異常低温注意報が出た場合、念のため下記の手順で水抜きをしてください。

(1)浴槽の湯を抜いてください。
(2)風呂リモコンの追いだきスイッチを1～2分間「入」にしてください。これで風呂側配管の水が抜けます。
(3)追いだきスイッチを「切」にしてください。



■凍結したときの処置

- 凍給した場合は、使用しないでください。

凍結したままお使いになると、器具や配管が破損することがあります。

- 凍結が解けたあと、水漏れがないか確かめて使用してください。
- 器具や配管が破損しますと、高額の修理費用がかかる場合があります。(有料)

日常の点検・手入れ

■点検・手入れの際の注意

1. 快適で安全にお使いいただくために、日常の点検・手入れは必ず行なってください。
2. 手入れの前には必ずガス元栓を閉め、器具が冷えてから行なってください。
3. ガス通路部分は絶対に分解しないでください。
4. 点検で異常を見つけたときは、お買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)へ連絡してください。

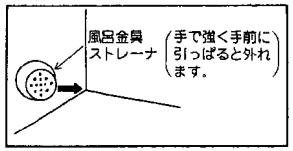
■点　検

1. 器具のまわりに燃えやすい物が置いてありませんか。
2. 器具の外観に異常は見られませんか。
3. 運転中に、異常音が聞こえませんか。
4. 器具および配管部からの水漏れはありませんか。
5. ガス臭くはありませんか。

■手入れ(器具は常に清潔にしてご使用ください。)

●浴槽内風呂金具のストレーナは詰っていませんか。

ストレーナが詰ると沸き上り時間が長くなります。
ストレーナを外し時々掃除してください。



●ケーシングの汚れは、やわらかい布に台所用中性洗剤をつけて、汚れをふき取ってください。

●風呂リモコンには電気部品が入っていますので、かわいた布でふいてください。

シンナー・ベンジン・化学ぞうきんなどでふかないでください。

故障・異常の見分け方と処置方法

■故障・異常の見分け方と処置方法

●ご使用中に普段と違った状態になったときや、不具合が生じたときは下記の処置を行ない、それでも直らないときは、ただちに使用を中止してお買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)へ連絡してください。

現象 / 原因		寒い日に排気口から湯気が出る	給湯栓を開けても湯が出ない	あつい湯が出ない	途中で水になる	湯温が変化する	給湯燃焼ランプが点滅する	追いだきランプが点滅する	風呂の沸き上りがいつもより遅い	ふろ/暖房燃焼ランプが点灯しない	暖房がきかない、または暖きがおそい	ふろ/暖房燃焼ランプが点滅する	処置方法	参照ページ
電源プラグがコンセントから外れている。		異常ではありません	●							●			プラグをコンセントに差し込む	8
ガス元栓の開き不十分				●			●			●	●	●	ガス元栓を全開にする	8
配管内に空気が残っている。			●							●			点火操作を繰り返す	13 15
ガス圧が適切でない				●			●			●	●	●	他の器具も同様の場合は点検を依頼する(他に原因がないとき)	—
給水元栓の開き不十分			●		●	●							給湯栓をいったん閉めてから給水元栓を全開にする	8・12
水圧が適切でない	低い		●		●	●				●			点検を依頼する(他に原因がないとき)	—
凍結している			●										解凍するまで使用を中止する	18
混合水栓の目詰り			●	●	●	●							点検を依頼する	—
風呂金具ストレーナの目詰り										●			ストレーナを外して掃除する	19
給湯栓の開き不足			●	●	●								給湯栓を全開にする	13
安全装置が作動した					●		●			●		●	いったん器具の運転を停止し、再度「運転操作」をする	21
暖房水の不足								●					水を補給する	16
放熱器の故障										●	●		点検を依頼する	—

故障・異常の見分け方と処置方法

■安全装置が作動したときの処置方法

安全装置が作動したときは、次の方法により処置してください。

安全装置	作動内容		処置方法
	給湯	暖房・風呂追いだき	
空だき防止装置	――――	●暖房水が減ると自動的に運転を停止し、使用しているランプ（緑）が点滅します。	⑯ページの暖房水の補給方法を参照し、暖房水の補給を行なってください。
立消え安全装置	●使用中、メーンバーナの炎が消えたときには、自動的に運転を停止します。 ●風呂リモコンの燃焼ランプ(赤)は点滅します。		安全装置の作動に気がついたときは、いったん運転を停止させ再度点火操作を繰り返しても安全装置が作動する場合は、お買い上げの販売店か、ガス会社（ガス供給業者）へ連絡してください。
空だき安全装置	●メーンバーナの炎が消えずに湯温が異常に上昇したときは、自動的に運転を停止します。 ●風呂リモコンの燃焼ランプ(赤)は消灯します。		このような場合は再使用できず点検・修理が必要です。ガス元栓を閉め、電源プラグをコンセントより抜いた後、お買い上げの販売店か、ガス会社（ガス供給業者）へ連絡してください。
過熱防止装置	●使用中、器具に異常が生じ器具内の温度が高くなったときは、火災防止のために自動的に運転を停止します。 ●風呂リモコンの燃焼ランプ(赤)は消灯します。		
過電流防止装置	●使用中、なんらかの原因で過電流が流れたときは、自動的に運転を停止します。 ●風呂リモコンの運転ランプ(緑)、燃焼ランプ(赤)は消灯します。		
過圧防止安全装置	●器具内の水圧が異常に上昇したときに作動し、器具内の圧力を下げて、器具の損傷を防止します。	――――	このような場合は点検・修理が必要です。ガス元栓を閉め、電源プラグをコンセントより抜いた後、お買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)へ連絡してください。

仕様

■仕様表

形式名		GS-R247T-S			GS-F247T-S		
機種		DT-247RFA			DT-247FFA		
本体寸法(mm)	幅 480	奥行 300	高さ 750				
風呂リモコン寸法(mm)	幅 195	奥行 24	高さ 95				
種類	給湯方式	先止め式					
	暖房方式	温水循環式					
	追いだき方式	直接循環式					
	給排気方式	強制排気式			強制給排気式		
設置方式		屋外設置(壁掛、据置)			屋内設置(壁掛、据置)		
標準熱効率(%)		〔暖房〕標準時 82：1,000kcal時 75　〔給湯〕全出力時 80					
点火方式		高圧連続火花放電(メーンバーナダイレクト点火方式)－給湯、暖房共					
最低作動流量		給湯 2.5ℓ/min　暖房 0ℓ/min　追いだき 0ℓ/min					
暖房温水温度制御		比例制御＋ON-OFF制御					
循環温水設定温度		比例制御；80℃一定　ON-OFF制御；OFF88℃-ON70℃					
暖房ポンプ能力		機外揚程 4mH_2O(at 8ℓ/min)					
風呂ポンプ能力		機外揚程 4mH_2O(at 6ℓ/min)　自吸能力 2.5mH_2O					
膨張タンク有効容量		1.0ℓ(暖房水報知フリッカーから満水ブザーが鳴るまでの容量)					
水路構成		2缶3水路方式(給湯、暖房同時使用可能。風呂と暖房は能力振り分け)					
給湯量		水圧1kg/㎠時 10ℓ/min（10ℓ/minハイカットガバナー内蔵）					
給湯湯温制御		比例制御、湯温は60℃一定					
風呂湯温調節		35℃～47℃の調節可能					
使用電源		単相AC100V 50Hz					
標準消費電力		暖房時 115W、風呂時 205W、給湯時 60W、同時使用時 220W					
安全装置	暖房	空だき防止装置、立消え安全装置、空だき安全装置					
	給湯	空だき防止装置、立消え安全装置、空だき安全装置、過圧防止安全装置					
	共用	過熱防止装置、過電流防止装置、漏電安全装置					
重量	(kg)	本体 39、運転時 43.8、梱包 43					
接続口径	ガス	PT¾					
	給水湯	PF¾					
	暖房	PF¾					
	湯水	PT½					
	追いだき	PF½					
	電線管	C31					
標準附属品		風呂リモコン、給湯ソルダー継手(2ヶ)					
別売部品		ヘッダーユニット、据置台、壁掛金具、壁掛カバー、特殊給排気アダプタ(RF専用)、台所リモコン、風呂金具、給排気筒トップ(FF専用)					

※本仕様は、改良のため予告なしに変更することがあります。

仕様

■仕様表

●給湯能力の(　　)内は、水温+25℃上昇に換算した号数です。

ガスグループ		形式名	1時間当たりのガス消費量(kcal/h) 最大	給湯 最大	給湯 最小	暖房	標準出力(kcal/h) 能力最大時 給湯	暖房
都市ガス	6B	GS-R247T-S	42.600	31.000	7.800	11.600	24.750(16.5号)	9.500
	13A		42.600	31.000	7.800	11.600	24.750(16.5号)	9.500
	12A		39.700	28.700	7.300	10.800	22.950(15.3号)	8.800

ガスグループ		形式名	1時間当たりのガス消費量(kcal/h) 最大	給湯 最大	給湯 最小	暖房	標準出力(kcal/h) 能力最大時 給湯	暖房
都市ガス	6B	GS-F247T-S	41.000	29.800	7.800	11.200	24.000(16号)	9.200
	13A		41.000	29.800	7.800	11.200	24.000(16号)	9.200
	12A		38.200	27.800	7.300	10.400	22.400(14.9号)	8.500

長期間使用しない場合

お買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)へ連絡してください。
特に冬期は凍結による破損防止処置が必要ですので、注意してください。

アフターサービス

■サービス(点検・修理)を依頼される前に

●⑳ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てお調べになり、直らないとき、あるいはご不明のときは、ご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)へ連絡してください。

連絡していただきたい内容

(1)機種・形式名(銘板表示の物)・ガスグループ
(2)お客様のご氏名・住所・電話番号・道順
(3)故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
(4)器具購入日および訪問ご希望日

㉓

アフターサービス

■転居される場合

●ガスの種類の異なる地区へ転居される場合は、改造・調整が必要です。

お買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)に相談してください。

●この場合の改造・調整に要する費用は保証期間内であっても有料です。
●使用ガスグループによっては生産していないものがありますので、改造できない場合があります。

■保証書について

●この器具には保証書を添付しております。

保証書は、お買い上げの販売店でお渡しいたしますから、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保存してください。

●保証期間はお買い上げ日より2年間です。

保証期間中は

●保証書の記載内容に従ってお買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)が修理いたします。

その他の詳細は保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているときは

●お買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)に相談してください。

修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望により有料で修理いたします。

■補修用性能部品の最低保有期間について

●この瞬間式給湯暖房機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後10年です。

補修用性能部品とは、器具の機能を維持するために必要な部品です。

■保守契約制度

●保守契約制度(有料)に加入していただくと、定期点検を専門家が責任をもって行ないます。この保守契約につきましては、お買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)に相談してください。

■連絡先

●保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店か、裏表紙へ記載している営業所等へお問合わせください。

㉔

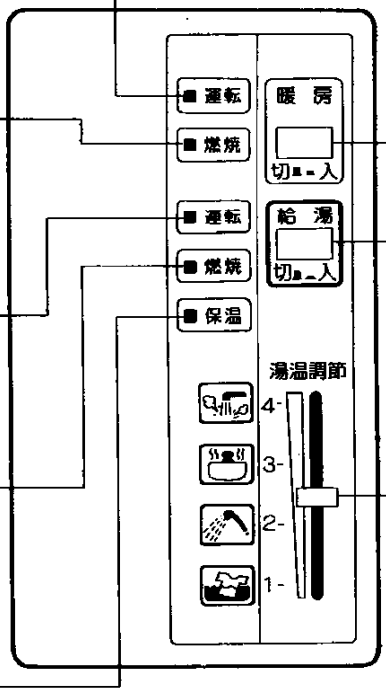
台所リモコン(別売) 使　用　方　法	DT－247RFA(U)(S) DT－247RFAZ(U) DT－247FFA(U)(S) DT－247FFAZ(U)	<GS－R247T－S> <GS－F247T－S>	5555 2222 2222	7420 1515 2424 4062	13	14	1

台所リモコン取扱説明書

給湯と暖房に限り、この取扱説明書に従って操作してください。

（本体に添付している取扱説明書の使用方法では、給湯・暖房に限り使用できません。）

各部の名称（DT-247RFA-A, DT-247FFA-A用）



暖房運転ランプ(緑)

暖房スイッチを「入」にすると点灯します。

暖房水が不足すると点滅します。
暖房水を補給してください。

暖房燃焼ランプ(赤)

暖房のバーナが燃焼しているとき点灯します。

給湯運転ランプ(緑)

給湯スイッチを「入」にすると点灯します。

給湯燃焼ランプ(赤)

給湯のバーナが燃焼しているとき点灯します。

保温ランプ(緑)

風呂自動運転が完了すると4時間点灯します。

暖房スイッチ

暖房を使用するとき、「入」にしてください。

次に使用する放熱器を「入」にしてください。

リモコン暖房装置を取付けている場合は、このスイッチは「切」で使用してください。

給湯スイッチ

給湯を使用するとき、「入」にしてください。

点火・消火は給湯栓の開閉で行なってください。

湯温調節つまみ

お使いになる湯温にセットしてください。

機種名	Dダイドコロ247A-A

- 暖房運転ランプ(緑)が点滅した時は、暖房水の補給をしてください。
- 燃焼ランプ(赤)が点滅した時は、使用しているスイッチをいったん「切」にし、再度「入」にしてください。
  この操作をしても点滅がとまらない時は、サービスを依頼してください。

034N14000

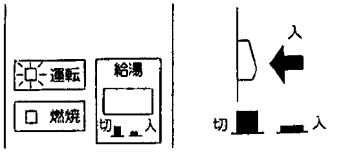
使用方法（操作のしかた）

給湯運転

1 運転

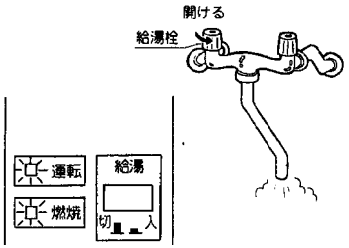
❶ **台所リモコンの給湯スイッチを「入」にしてください。**

- 給湯運転ランプ(緑)が点灯します。



❷ **お湯を使用する場所の給湯栓を開いてください。**

- メーンバーナに点火し、燃焼中は台所リモコンの給湯燃焼ランプ(赤)が点灯します。



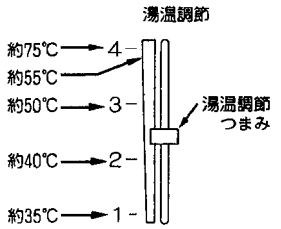
2 温度調節

● **台所リモコンの湯温調節つまみをお使いになる湯温にセットしてください。**

※ 約35℃～約55℃の範囲では、湯温調節つまみにより、湯温を連続的に変化させることができます。

※ 約55℃の位置であたり（カチッと音がする）があり、さらに上に動かすと約75℃になります。

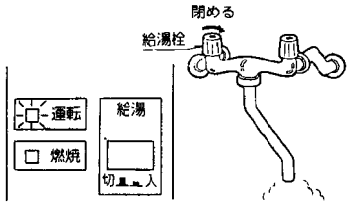
※ あつい湯のでない時は、湯量を絞ってください。



3 停止

● **給湯栓を閉めてください。**

- メーンバーナが消火し、台所リモコンの給湯燃焼ランプ(赤)が消灯します。



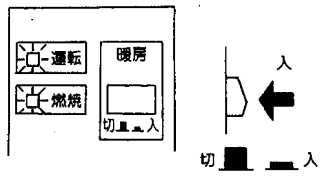
使用方法（操作のしかた）

暖房運転

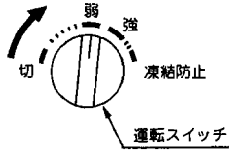
1 運転

❶ **台所リモコンの暖房スイッチを「入」にしてください。**

- 暖房運転ランプ(緑)が点灯します。そして、メーンバーナに点火し、燃焼中は台所リモコンの暖房燃焼ランプ(赤)が点灯します。

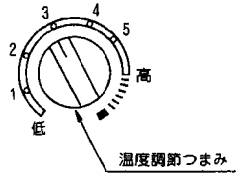


❷ **暖房するお部屋の放熱器の運転スイッチを入れてください。**



2 温度調節

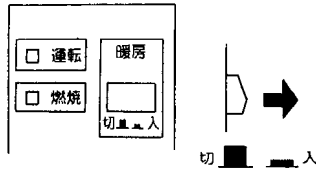
● **室温の調節は放熱器の温度調節つまみで行なってください。**



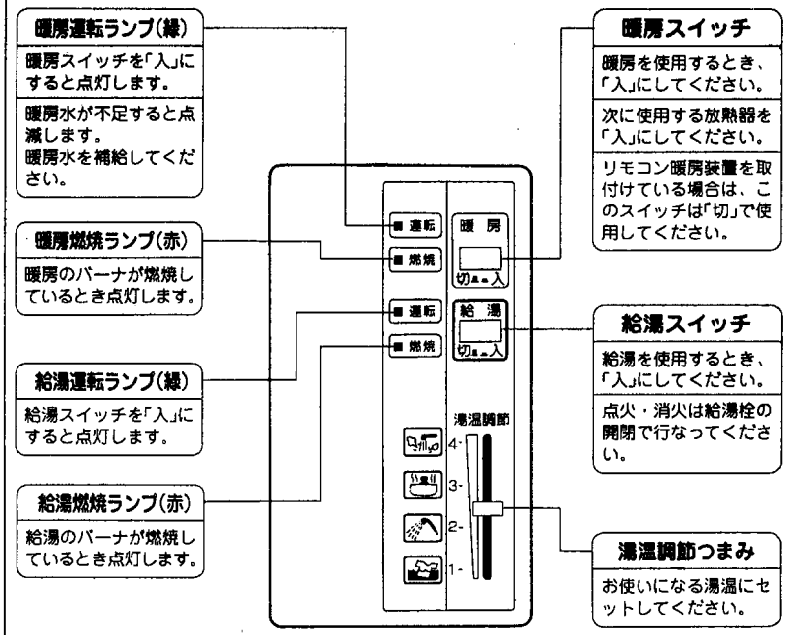
3 停止

● **台所リモコンの暖房スイッチを「切」にしてください。**

- メーンバーナが消火し、台所リモコンの暖房燃焼ランプ(赤)、暖房運転ランプ(緑)が消灯します。



各部の名称（DT-247RFA, DT-247FFA用）



機種名	Dダイドコロ247A

- 暖房運転ランプ(緑)が点滅した時は、暖房水の補給をしてください。
- 燃焼ランプ(赤)が点滅した時は、使用しているスイッチをいったん「切」にし、再度「入」にしてください。
  この操作をしても点滅がとまらない時は、サービスを依頼してください。

保　証　書　№ 100149

型式名	GS-R247T GS-R247T-S
型式名	GS-F247T GS-F247T-S

品名 DT-247RFA-A
DT-247RFA
DT-247FFA-A
DT-247FFA 瞬間式給湯暖房機

上記器具をお買い上げいただきましてありがとうございます。
この保証書は東京ガス供給区域内において都市ガス用として、ご使用になる場合、本証書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

(1) 保証期間は上記品名の器具をお買い上げの日から２年間とし器具本体を対象とします。
(2) 万一故障の場合はお買い上げの店、もしくはもよりの東京ガスへお申し出ください。原則として出張修理をいたします。
(3) 器具をご持参された場合、またはサービス員が参上した時に本証書をお示しください。
(4) 保証期間中でありましても次の場合には有料修理といたします。
　(イ) 取扱説明書によらないでご使用になり故障した場合。
　(ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
　(ハ) 火災、天災、地変等による故障、その他不可抗力による故障。
　(ニ) お買い上げの店、あるいは東京ガスに、ご連絡なしに改造された場合の故障。
　(ホ) 器具に表示してある以外のガスでご使用のため改造される場合。ただし、当社都合の場合はのぞきます。
　(ヘ) 本証書を紛失された場合。
(5) 無料修理などアフターサービス等について、ご不明の場合はお買い上げの店または取扱説明書に記載してあるもよりの東京ガス支社・営業所にお問合せください。

保証履行者 東京ガス株式会社 東京都港区海岸１丁目５番20号
電話 03 (433) 21

保証責任者 鳥取三洋電機株式会社 鳥取市立川町７丁目１０１
電話 0857 (23) 28

073N15000

修理記録

この器具の修理記録は器具本体の表面カバーの裏に記録します。

お買上げ日および販売店名

お買上げ日	昭和　　年　　月　　日

販売店名		扱者印	
住所			
電話番号			

お客様へ

1. この保証書をお受取りになる時に販売年月日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。
2. 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては取扱説明書をご覧ください。
4. この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。